

2023年度

社内利用ソフト自主検査システム説明書 マシン登録編

～NOANETに接続していないPCの構成情報を取得・登録したい場合～

このマニュアルは次に関して説明します。

- ・NOANETに接続できないマシンからPC構成情報を取得する手順
- ・取得したPC構成情報をシステムへアップロードする手順

ご不明な点などございましたら下記ヘルプデスクまでご連絡ください。

社内利用ソフト自主検査ヘルプデスク

Mail: nsdhelp@am.nttdata.co.jp

HP: <http://nsd.infofield.nttdata.co.jp>

更新履歴

2023.10.02: 2023年度版として新規作成。

目次

～ 1. はじめに ～

- 1.1. 社内利用ソフトの管理の目的について(P.5)
- 1.2. 社内利用ソフト自主検査における検査の流れについて(P.6)
- 1.3. 本書で説明する手順の流れについて(P.7)

～ 2. コマンド実行ツールのダウンロード ～

- 2.1. コマンド実行ツールのダウンロード手順について(P.9～P.10)

～ 3. コマンド実行ツールの実行 ～

- 3.1. コマンド実行ツールの実行方法について(P.12～P.14)

～ 4. XMLファイルの登録 ～

- 4.1. XMLファイルの登録方法について(P.16)
- 4.2. 登録画面経由でのファイルの登録(P.17～P.19)

検査作業を円滑に遂行するため、指示された期限までに実施して下さい。

1. はじめに

1.1. 社内利用ソフトの管理の目的について

ソフトウェアの複製は簡単に行うことができます。

ソフトウェアは、通常デジタル化された状態で流通しているという性格を持ち、アナログ式のものとは異なり、どんなに複製しても品質が劣化することはありません。複製する手間もかからず、すぐに大量の複製をすることも可能です。

このように無許諾の複製が広範に行われると、ソフトウェアの売れ行きが落ち、著作者の経済的利益が侵害されたり勝手に改変され、著作者の人格的利益も侵害される可能性があることは容易に想像できます。

著作者の経済的・人格的利益が侵害されるような状況の下では、著作者であるソフトウェア製作者の創作意欲が減退し、良質のソフトウェアが創作されず、結果として文化の発展が阻害されることとなります。このような事態が生じないよう著作者の利益は適切に確保されなければなりません。

このため、ソフトウェアは著作権法により保護されており、著作権者の経済的な利益を損なうような行為の1つとして、「複製」が禁じられています。また、ソフトウェアは「使用許諾契約」により、個々のソフトウェアの使用形態等に応じた、具体的な使用条件も定められています。

ソフトウェアのインストールは複製に該当し、使用許諾された範囲を超えてインストール（複製）を行うことはできません。

社内利用ソフトの管理は、これらの法律や契約に反するような「複製」、即ち「不正コピー」を行わないようにすることが目的となります。

※1「社内利用ソフト」とは？

社内利用ソフトとは、「当社が社内で利用するソフトウェア」(著作権取扱細則・第2条第1項)

つまり「当社が購入またはリースをしているPC、サーバーにインストールされている、社内利用目的のソフトウェア」の総称を指し、市販ソフトに加えて、NOAシステム等の自社開発ソフト、および無償で入手したフリーウェアも含まれます。

本書において、「社内利用ソフト」とは以上のものを指すものとします。

ソフトウェア管理の詳細については、[知的財産HP](#)、[社団法人コンピューターソフトウェア著作権協会\(ACCS\)HP](#)等を参照ください。

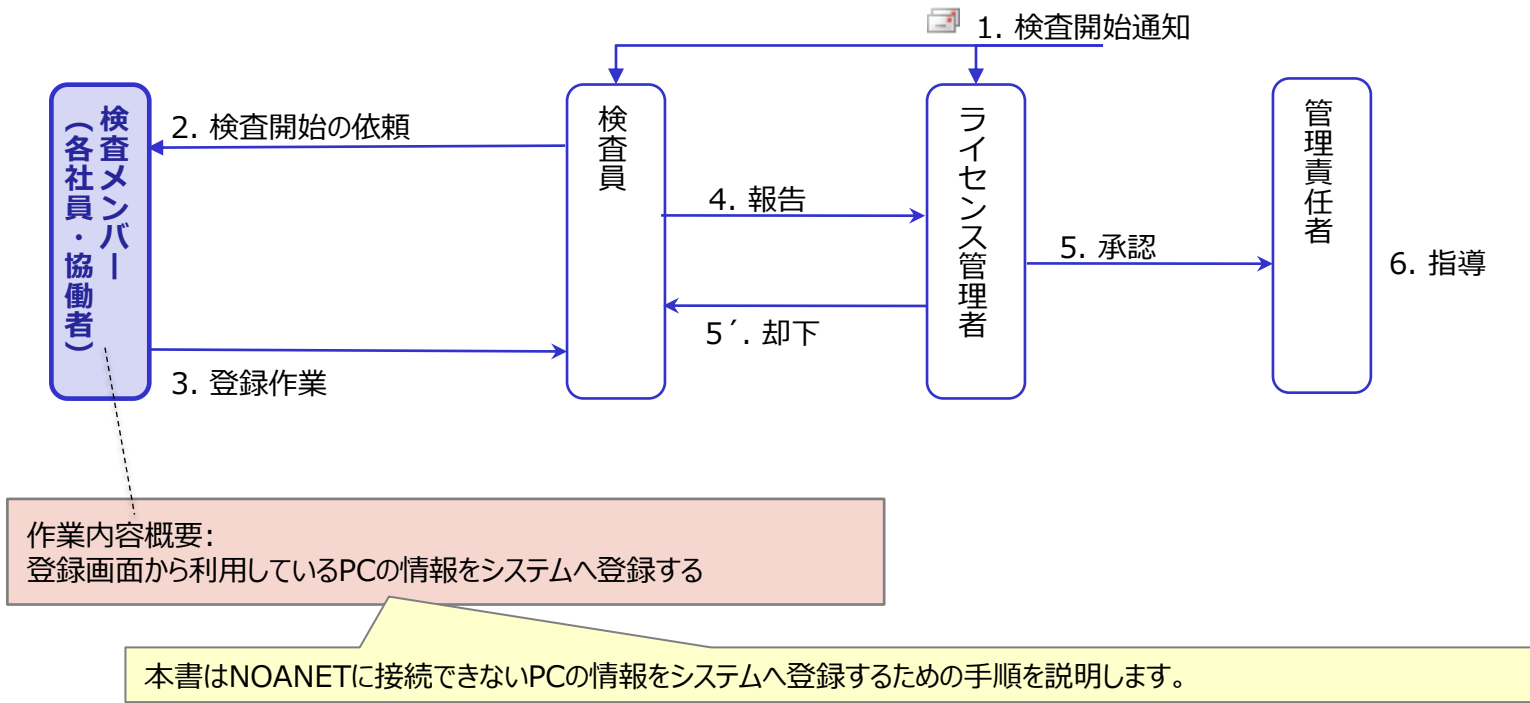
※1. 知的財産HP(<http://www.gad.nttdata.co.jp/ipo/index.html>)

※2. 著作権取扱細則(<http://soumujoho.gad.nttdata.co.jp/hyoujun/yh/hyhb1001.htm#05>)

※3. 社団法人コンピューターソフトウェア著作権協会HP(http://www2.accsjp.or.jp/sam/manual_download.php)

1.2. 社内利用ソフト自主検査における検査の流れについて

社内利用ソフト自主検査における検査の流れ（概略）



※社内利用ソフト自主検査の目的、検査の流れ等についての詳細は運用実施要領を参照ください。

1.3. 本書で説明する手順の流れについて

NOANETに接続できないPCの情報をシステムへ登録したい

コマンド実行ツールのダウンロード

1. NOANETに接続可能なマシンから社内利用ソフト自主検査のWebサイトへアクセスしてコマンド実行ツールをダウンロードします。

2. NOANETに接続できないマシンへダウンロードしたコマンド実行ツールをコピーします。

コマンド実行ツールの実行

3. ダウンロードしたコマンド実行ツールを対象のPC上で実行します。
コマンド実行ツールは、PCの情報をXMLファイルとして出力します。
コマンド実行ツールを実行するにはAdministrators権限が必要となります。

4. NOANETに接続可能なマシンへコマンド実行ツールで出力したXMLファイルをコピーします。

XMLファイルの登録

5. NOANETに接続可能なマシンからコピーしたXMLファイル(NOANETに接続できないPCの情報)を登録画面もしくはXMLアップロードツールから登録します。

2.コマンド実行ツールのダウンロード

2.1. コマンド実行ツールのダウンロード手順について（1/2）

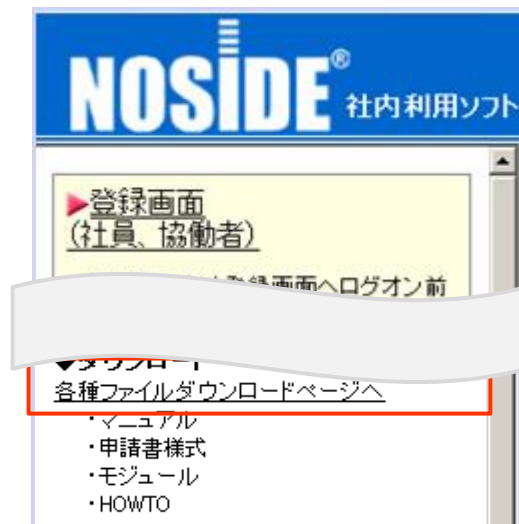
ここからの作業は、NOANETに接続可能なマシンで実施してください。

1. 登録したいPC上からEXPlatformにアクセスし、画面中ほどの「社内システムリンク」の一覧に[\[社内利用ソフト自主検査システム\]](#)を選択します。



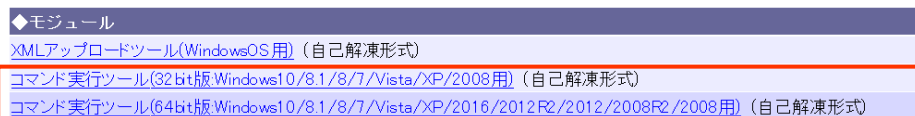
社内システムリンク					
社員共通					
就業管理システム	[ND]	旅費申請システム	[ND]	OIヘルプデスク	
グループ就業管理	[NDHQ、INC]	ヘルプデスク/ITMNOW		受付管理	
会議室予約		INFOGRID運用ホームページ		通勤経路申請	[ND]
電話帳		社内利用ソフト自主検査システム		グループ通勤経路申請	[NDHQ、INC]
NTT DATA Digital Workplace		N-BizLifeStation		福利厚生システム	
DWPコンテンツ登録					
プロジェクト					
グループシステム情報基盤		プロジェクトリスク審査(PRES)			
会計・購買・経営管理					
グループ経営管理基盤		INFOGRID権限申請システム	[ND]	会計SAPシステム	[ND]
INFOGRID会計フロントシステム	[ND]	グループ権限申請システム	[NDHQ、INC]	グループ会計（Biz「会計」システム	[NDHQ、INC]

2.1. コマンド実行ツールのダウンロード手順について（2/2）



2. 社内利用ソフト自主検査システムTOPページ(<http://nsd.infofield.nttdata.co.jp>)が表示されます。
画面左のメニューから【各種ファイルダウンロードページへ】を選択してください。

- a) 32ビット版のWindows 10/8.1/8/7/Vista/XP/2008でご利用になる場合
⇒ AgentCmdV1.25.*(x86).exe
b) 64ビット版のWindows
11/10/8.1/8/7/Vista/XP/2016/2012R2/2012/2008R2/2008でご利用になる場合
⇒ AgentCmdV1.25.*(x64).exe
をそれぞれダウンロードしてください。



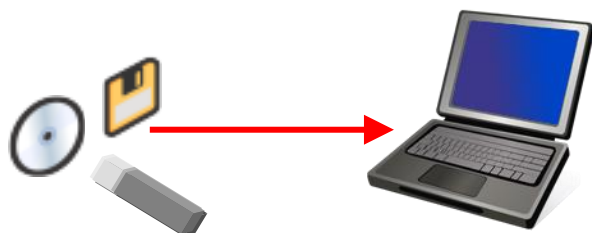
4. 各種ファイルダウンロードページが表示されます。
モジュールの項目から【コマンド実行ツール(***版)】を選択して
対象となるクライアントのコマンド実行ツールをダウンロードしてください。
5. ダウンロードしたファイルをFD等の可搬記憶媒体へ上記のファイルをコピーしてください。

3. コマンド実行ツールの実行

コマンド実行ツールを用いて、PCの構成情報をXMLファイルとしてエクスポートするための手順を説明します。

3.1. コマンド実行ツールの実行方法について（1/3）

ここからの作業は、構成情報取得対象となるマシンで実施してください。
(先ほどの作業でコマンド実行ツールを保存した可搬記憶媒体を準備してください。)



個人情報保護関連でFDやUSBなどの可搬記憶媒体が利用できません。

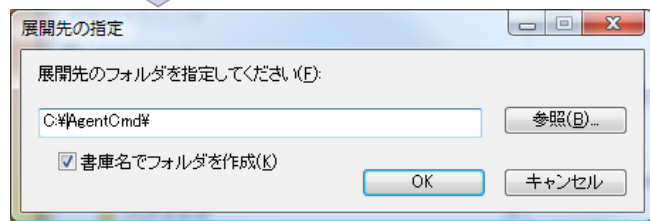
紙申請による検査を実施してください。

(紙申請による検査方法については
各事業部の知的財産担当へご確認ください)



※セキュアFATをご利用の場合

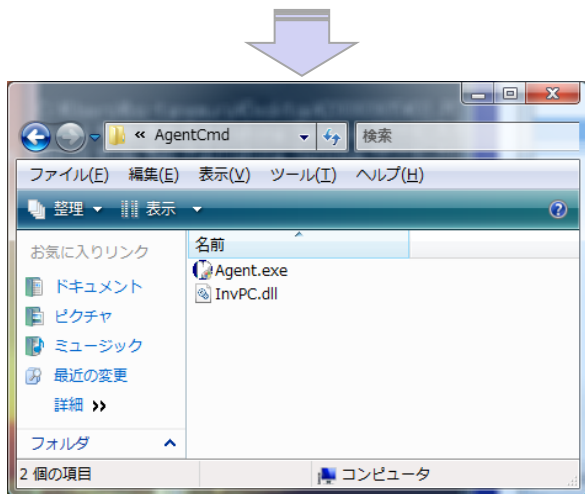
TeamsやOneDrive等でセキュアFAT上へダウンロードしたツールを移動し、セキュアFAT上で実行をお願いいたします。



1. コマンド実行ツールを保存した媒体を使ってNOANETへ接続していないPCへダウンロードした【AgentCmd***.exe】をコピーします。

2. コピーした【AgentCmd***.exe】を開きます。
自己解凍形式のファイルとなっているため任意のフォルダーへ解凍してください。

3.1. コマンド実行ツールの実行方法について (2/3)

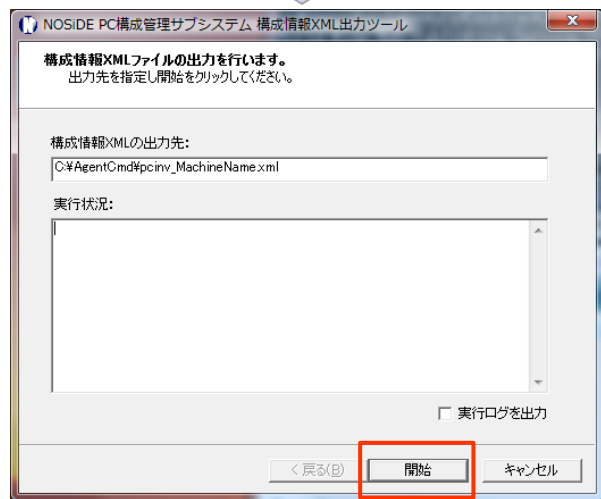


3. 解凍すると展開先のフォルダーへ以下のファイルが作成されます。

- a) Agent.exe
- b) InvPC.dll



フォルダーの設定により、「InvPC.dll」は表示されない場合があります。



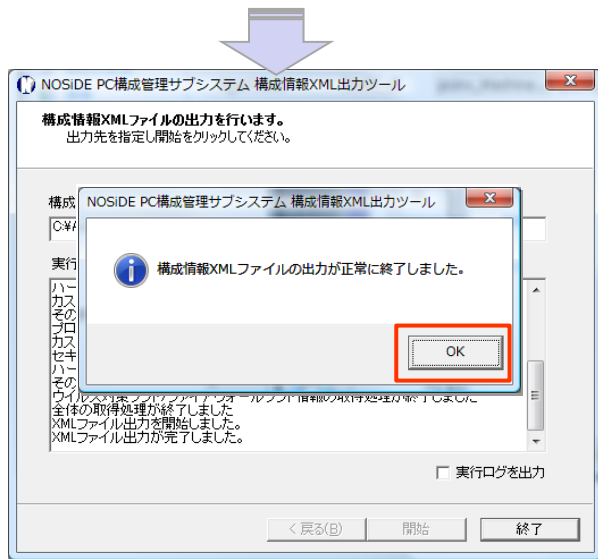
4. 【Agent.exe】を開き、[開始] ボタンを選択します。

構成情報の取得が開始されます。(数十秒ほど時間がかかることがあります)

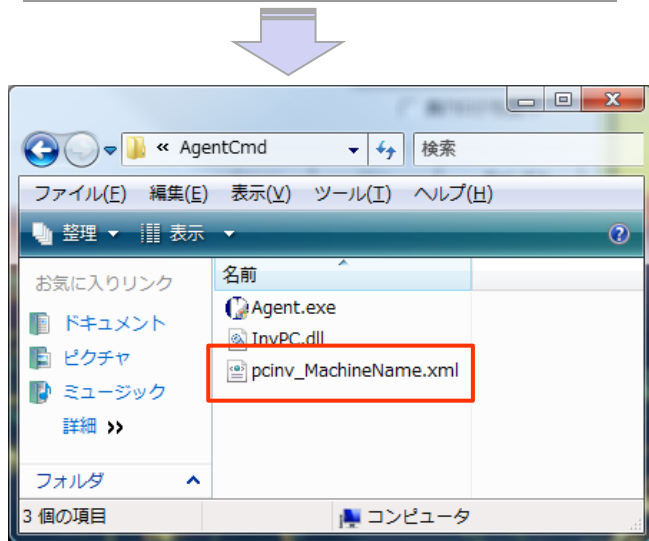


構成情報の取得にはAdministrators権限が必要となります。
権限がない旨のメッセージが表示された場合には
Administrators権限をもつユーザーでPCへログオンしなおした後、再実行してください。

3.1. コマンド実行ツールの実行方法について (3/3)



5. 構成情報の取得が完了するとダイアログが表示されます。
[OK] ボタンを選択してください。



6. 構成情報の出力先に指定したファイルへ構成情報がXMLファイルとして出力されます。
(既定ではコマンド実行ツールと同じフォルダーへ【pcinv_<マシン名>.xml】という名前で出力されます)

以上でコマンド実行ツールによる構成情報の取得作業は完了となります。

7. コマンド実行ツールを用いて出力した構成情報のXMLファイルを
FD等の可搬記憶媒体へコピーしNOANETに接続可能なマシンへコピーします。

4. XMLファイルの登録

4.1. XMLファイルの登録方法について

XMLファイルの登録方法には下記の2通りの方法があります。
ご利用の環境に合わせて、いずれかの方法でXMLファイルの登録を行ってください。

1. 登録画面経由でのファイルの登録

1回のアップロードにつき、1ファイル(1台)ずつの登録を行う方法になります。

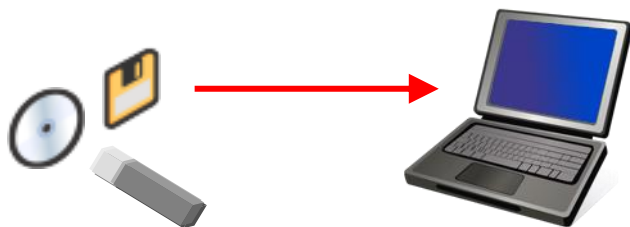
2. XMLアップロードツール経由でのファイルの登録

1回のアップロードで、複数ファイル(複数台)の登録を行う方法になります。

※登録方法については、マニュアル:「マシン登録編 ～NOANETに接続していないPCの構成情報をまとめて登録したい場合～」を参照ください。

4.2. 登録画面経由でのファイルの登録（1/3）

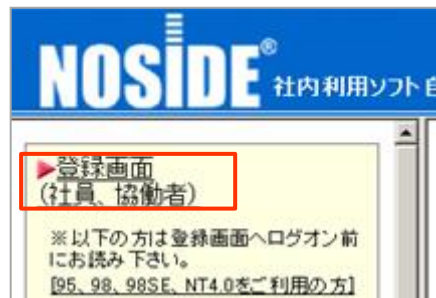
ここからの作業は、NOANETに接続可能なマシンで実施してください。
（本作業にはコマンド実行ツールで出力したXMLファイルを保存した可搬記憶媒体が必要になります。）



1. コマンド実行ツールを用いて出力した構成情報のXMLファイルをFD等の可搬記憶媒体へコピーしNOANETに接続可能なマシンへコピーします。

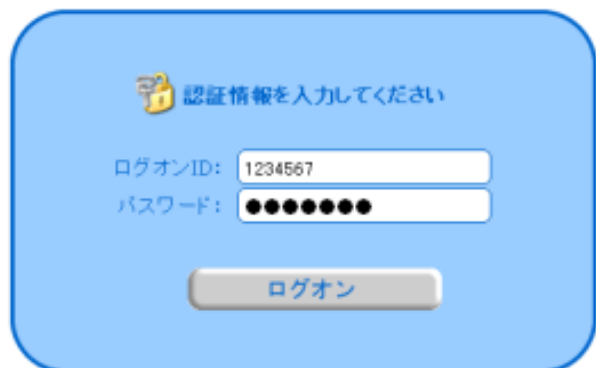
※セキュアFATをご利用の場合

取得したXMLファイルをTeamsやOneDrive等を利用して、社内NWにアクセスできる環境（BXO DaaS等）へ移動ください。



2. Webブラウザを起動して <http://nsd.infofield.nttdata.co.jp>へアクセスします。
3. 画面左上の【登録画面(社員、協働者)】のリンクを選択します。

4.2. 登録画面経由でのファイルの登録（2/3）



認証情報を入力してください

ログインID: 1234567

パスワード: ●●●●●●●●

ログイン

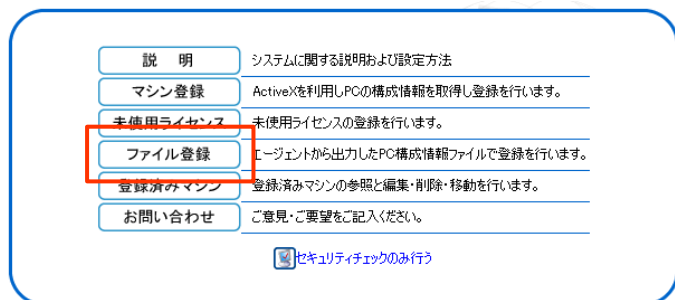
4. ログインID・パスワードを入力して登録画面へログインします。

ログインID:


- ・社員の場合、数値7桁の氏名コード
- ・協働者の場合、“U” で始まる協働者ID

パスワード:

- ・Egg鍵付ページやWebプロキシに利用しているパスワードと同じパスワードを入力してください。

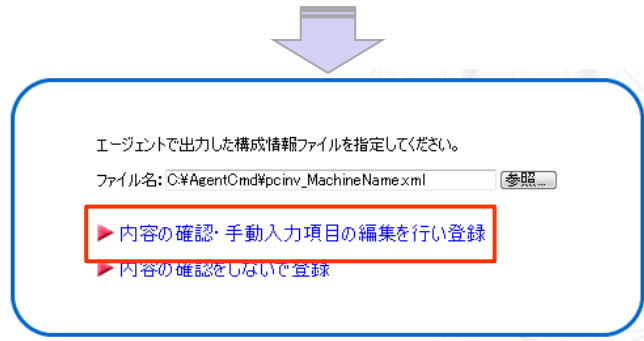


説 明	システムに関する説明および設定方法
マシン登録	ActiveXを利用しPCの構成情報を取得し登録を行います。
未使用ライセンス	未使用ライセンスの登録を行います。
ファイル登録	エージェントから出力したPC構成情報ファイルで登録を行います。
登録済みのマシン	登録済みマシンの参照と編集・削除・移動を行います。
お問い合わせ	ご意見・ご要望をご記入ください。

 セキュリティチェックのみ行う

5. メインページから【ファイル登録】メニューを選択します。

4.2. 登録画面経由でのファイルの登録（3/3）



エージェントで出力した構成情報ファイルを指定してください。

ファイル名: C:\AgentCmd\pcinv_MachineName.xml

▶ 内容の確認・手動入力項目の編集を行い登録

▶ 内容の確認をしないで登録

6. 【参照】ボタンを選択し、コマンド実行ツールを用いて出力した構成情報のXMLファイルを指定します。
7. 【内容の確認・手動入力項目の編集を行い登録】を選択します。

以降の手順は
マニュアル:「マシン登録編 ～NOANETに接続しているPCを登録したい場合～」
のP.17以降を参考に登録作業をおこなってください。

